

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備						
主管課名	都市計画課								
関係課名	建設課、企画政策課、生活環境課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。 駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。 								
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 公共交通が利用しやすくなるための意見や提案を積極的に行います。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行います。 魚津市民バス、地鉄バス市内路線について、路線の整備、利用のPRを図ります。 公共交通に関する各種団体及び機関からなる公共交通活性化会議を行います。 							
	その他（地域）								
施策を実行する うえで基本となる事業	基本事業①	公共交通ネットワークの充実							
	基本事業②	市民バス体系の強化							
	基本事業③	在来線の利便性向上							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	5 (5)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	3 (3)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	102,929	135,774	148,439	117,882	113,821	123,197
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	32,403	40,925	51,034	41,614	12,084	12,986
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	68,928	69,105	76,225	76,268	74,083	78,555
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	1,598	25,744	21,180	0	27,654	31,656
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	12	9	9	7	7	7	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	4,660	5,600	5,600	4,760	2,800	3,000	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	19,483	23,022	22,551	19,097	12,191	13,296	
F. トータルコスト（B+E）		千円	122,412	158,796	170,990	136,979	126,012	136,493	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	2,385	3,179	3,506	2,798	2,731	2,988
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	452	539	533	453	293	323
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	2,837	3,718	4,039	3,251	3,024	3,311	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	①公共交通ネットワークの充実		
基本事業の目的(意図)	誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【公共交通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」「(魚津タクシー協会運行)の運行に対する支援を行いました。 ・地鉄線については、利用促進のため、インバウンド対応車両の購入の支援を行いました。また、コロナ禍でも運行本数を維持するための運行支援と、車両の消毒等感染防止対策の支援を行いました。 ・あいの風とやま鉄道の経営安定基金(県設立)へ県・県内自治体・民間とともに拠出しました。 ・富山地方鉄道の市内路線バスの市民バス並料金化と夕方の増便を行うための支援を国・県とともに行いました。 ・県、黒部市、地鉄とアルペンライナーの魚津IC停車に伴う費用負担を行いました。 <p>【市営駐車場維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅南駐車場の維持管理(料金回収、保守点検、トラブル対応等)を行いました。 ・回数駐車券の販売については、購入サービスの向上を図るため、引き続き魚津市観光協会に委託し、販売時間の延長、休日販売を行いました。(生活環境課内の販売も継続中) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市内公共交通利用者数	人	3,170,563	3,113,029	2,773,297	2,740,000	2,710,000	2,690,000	2,660,000	2,630,000
					2,742,266	2,770,174	2,795,907	2,613,511	2,115,647
市内公共交通運行便数(平日)(便/日)	本	293	301	304	301	299	297	294	292
					311	309	305	309	300

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 公共交通対策事業	14,164,000	12,985,854	1,178,146	A	都市計画課
2	一般会計	市営駐車場維持管理事業(施策13①再掲)	(1,883,000)	(1,671,707)	(211,293)	-	生活環境課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			14,164,000	12,985,854	1,178,146		

基本事業概要シート②

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	②市民バス体系の強化		
基本事業の目的(意図)	市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津市民バス運行事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスの利用促進の一環として「バス無料デイ」を実施したほか、富山地方鉄道株式会社や近隣自治体とともに、「親子でおでかけ事業」を実施しました。また、未来の公共交通を支える子どもたちにバスを身近に感じていただくことを目的とし、バスを題材にしたポスターを募集し、最優秀作品をバスにラッピングしました。 ・市街地巡回ルートの夕方1便の継続的な増便運行(帰宅時等の通勤・通学者対策)を実施しました。 ・郊外ルートの安全運行管理体制の強化等のため、交通事業者への委託を行いました。併せて、運転手不足に対応するため、交通事業者や各地域の利用促進協議会とともに、各地域を通じた情報提供方法の構築を行いました。 ・「魚津市民バス等利用促進協議会」を年2回開催し、各地域の利用促進活動について情報共有を図るとともに、要望の地区間調整を行いながら、令和3年度のダイヤ編成を行いました。 ・富山県が主導し構築した、「バスの位置情報を提供する」とやまロケーションシステム」の運用により、バス利用者の利便性向上を図ることができました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市民バスの利用者数	人	180,020	175,324	158,327	156,000 143,409	154,000 138,512	153,000 142,004	151,000 133,698	140,000 113,038

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 魚津市民バス運行事業	81,173,000	78,555,230	2,617,770	A	都市計画課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			81,173,000	78,555,230	2,617,770		

基本事業概要シート③

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	③在来線の利便性向上		
基本事業の目的(意図)	駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺へのアクセス向上のため、都市計画道路北鬼江吉島線の北鬼江一丁目地内交差点に右折レーンを設置しました。 <p>【公共交通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、コロナ禍でも運行本数を維持するために運行協力を行いました。また、車両の消毒等感染防止対策に支援を行いました。 ・あいの風とやま鉄道の経営安定基金(県設立)へ県・県内自治体・民間とともに拠出しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市内富山地方鉄道駅利用者数	人	1,163,000	1,198,000	1,222,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
					1,217,000	1,278,000	1,295,000	1,174,025	963,270
あいの風とやま鉄道・魚津駅利用者数	人	—	—	1,387,730	1,366,000	1,352,000	1,345,000	1,331,000	1,317,000
					1,372,400	1,344,660	1,314,782	1,260,622	1,005,108

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 鉄道交通対策事業	32,911,000	31,656,465	1,254,535	A	都市計画課
2	一般会計	○ 魚津駅・新魚津駅周辺整備事業(施策14②再掲)	(57,176,000)	(55,675,804)	(1,500,196)	B	都市計画課
3	一般会計	○ 公共交通対策事業(施策19①再掲)	(14,164,000)	(12,985,854)	(1,178,146)	A	都市計画課
4							
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			32,911,000	31,656,465	1,254,535		

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆鉄道やバスなどの公共交通利用者は、平成28年度まで減少傾向にあったものの、平成29年度以降は増加に転じていましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の利用者は前年度と比べ、19.0%減と大幅に減少しています。 ◆「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」利用者は近年緩やかな減少傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で新幹線の利用が減少したことから、前年度比73.3%減と大幅な減となりました。 <p>【②市民バス体系の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市民バスについては、市街地巡回ルート及び郊外型フルートが運行され、平成26年度以降の利用者数は減少傾向にあったものの、平成30年度は、中学生及び高校生の乗車料金を1乗車100円とした効果もあり、年間利用者は増加に転じました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、前年度比14.5%減と、大幅な減少となりました。 ◆近隣の市町とは置かれている状況が異なるため、一概に比較はできませんが、人口に対する路線数や運行頻度は他市町よりも利便性が比較的高く、かつコストも高くない水準で運営しています。 ◆市民バスにおいては、交通空白地域を解消するための取組を沿線地域とともに進めており、その結果、バスによる運行が可能な地域では、交通空白地域は概ね解消されていると考えています。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地鉄線の乗降客数(市内4駅合計)は平成29年度から2年連続で増加しました。また、あいの風線は、平成27年3月のJRからの経営譲渡時に特急電車が廃止された影響で利用者が減少し、以降減少傾向が続いています。また、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響がある中でも一定の便数を維持しましたが、利用者は前年度と比べ地鉄線は17.9%減、あいの風線は20.3%減と、大幅に減少しています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <p><公共交通対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への地鉄・バス・電車等の時刻の掲載を行うことにより、利便性の高いダイヤ・ルートの提供ができました。 ◆魚津市公共交通活性化会議等を運営し、市民、関係者、関連事業者等との協議の中から、市民バスのあり方、魚津市が目指す鉄道・バス等公共交通のあり方を検討し、検討結果を実際の運行や施策に反映しました。 ◆地鉄線については、コロナの影響により、安全輸送のための支援は行いませんでした。利用促進のため、インバウンド対応車両の購入の支援を行いました。 ◆地鉄が実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止(3密回避)のための運行や、運行本数維持に対して支援を行いました。(鉄道・バス) <p>【②市民バス体系の強化】</p> <p><魚津市民バス事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街地巡回ルートの夕方の増便実験、地鉄バス料金の市民バス並料金化、利用促進イベントなど、費用対効果も見極めながら、できる限り利用者のニーズを踏まえた運行を行っていますが、人口減や免許を保有する高齢者増など構造的な要因もあり、平成26年度からは利用数が減少傾向にあります。この傾向に歯止めをかけるべく、各地域の「魚津市民バス等利用促進協議会」などが主体的に利用促進活動を展開しており、利用状況や活動内容について情報の共有を行っています。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆駅周辺へのアクセス向上のため、平成30年度から着手していた(都)北鬼江吉島線の交差点改良工事が、令和2年度で完了しました。 <p>【公共交通対策事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地鉄線については、コロナの影響により、安全輸送のための支援は行いませんでした。利用促進のため、インバウンド対応車両の購入の支援を行いました。また、コロナ禍でも運行本数を維持するための運行支援と、車両の消毒等感染防止対策の支援を行いました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市公共交通活性化会議等の運営や、様々な会合等の機会をとらえて、市民、関係者、関連事業者等と意思疎通を十分に行い、魚津市が目指す持続可能な鉄道・バス等公共交通のあり方を引き続き検討します。 ◆引き続き安全・安心に利用できる鉄道環境の整備及び魅力・快適性アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持に努めます。 ◆「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」については、魚津市内及び近隣自治体の企業にPRするなど、利用者増に努めます。 <p>【②市民バス体系の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆利用者数については、人口減や免許を保有する高齢者増などの影響が大きいと思われます。買い物・通院といった日中～夕方の時間帯に利用する主に年配のお客様が大幅に減少していることも要因と考えられます。そこで、各地域と連携した高齢者、子どもたちをターゲットとした利用促進活動、ルートの見直しやダイヤの見直しなども行いながら、利用者数の維持に取り組めます。 ◆バス車両の購入から8年が経過し、走行距離が40万キロを超える車両が散見されることから、車両のコンパクト化を含め、計画的な車両更新に取り組めます。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市内における交通結節点において、引き続き市民、事業者とともに電車・バス等公共交通の利用促進の取組を行います。 ◆あいの風やま鉄道等の利便性向上のための要望活動を引き続き実施します。 ◆立地適正化計画の都市機能等の誘導施策に位置付けた、魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想を基に、駅前広場など周辺施設整備に向けた、まちのトータルデザイン計画を策定します。 			